

厚生労働科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患政策研究事業）
分担研究報告書

「メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド」の作成

研究代表者

松井利浩 国立病院機構相模原病院臨床研究センターリウマチ性疾患研究部 副部長

研究分担者

浦田幸朋 つがる西北五広域連合つがる総合病院リウマチ科 科長
川畑仁人 聖マリアンナ医科大学医学部 教授
川人 豊 京都府立医科大学医学研究科 准教授
小嶋雅代 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター フレイル研究部 部長
佐浦隆一 大阪医科薬科大学医学部 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 教授
杉原毅彦 聖マリアンナ医科大学医学部 准教授
橋本 求 大阪市立大学膠原病内科 教授
房間美恵 宝塚大学看護学部 准教授
宮前多佳子 東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター医学部 准教授
村島温子 国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター
主任副周産期・母性診療センター長
森 雅亮 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 寄附講座教授
矢嶋宣幸 昭和大学医学部 准教授

分担協力者

島原範芳 道後温泉病院リウマチセンターリハビリテーション科理学療法部門 副科長
田口真哉 丸の内病院リハビリテーション部 係長
辻村美保 社会医療法人青虎会フジ虎ノ門整形外科病院 薬剤師
當間重人 国立病院機構東京病院 院長
中原英子 大阪行岡医療大学医療学部 教授
橋本 淳 国立病院機構大阪南医療センター 統括診療部長
長谷川三枝子 日本リウマチ友の会 会長
牧 美幸 あすなろ会 事務局担当理事
吉住尚美 レモン薬局 管理薬剤師

研究要旨

ライフステージに応じた関節リウマチ(RA)患者の支援に際し、医師以外の様々なメディカルスタッフの協力が不可欠であるが、患者支援に際して参考となるガイドやマニュアルがないという意見が多い。本研究の目的は、RA診療に関わるメディカルスタッフ(看護師、薬剤師、理学療法士/作業療法士)が、ライフステージに応じたRA患者を支援する際に有用な『メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド』を作成することである。昨年度までに患者支援ガイドで取り上げる項目を選定した(第1部「関節リウマチの基礎」(41項目)、第2部「ライフステージ別の患者支援」(32項目)、第3部「患者支援制度について」(7項目)、第4部「緊急時に対する備えと対応について」(5項目))。今年度は、患者支援ガイドを完成させ、パブリックコメントの募集を経て日本リウマチ学会関連サイト上に無償で公開した。さらに、Web講演会をはじめとした患者支援ガイド周知のための活動を積極的に行った。

A. 研究目的

メディカルスタッフ(看護師、薬剤師、理学療法士/作業療法士)が、ライフステージに応じた関節リウ

マチ(RA)患者を支援する際に有用な『メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド』(以下、患者支援ガイド)を医

師、メディカルスタッフ、患者が協働して作成すること。

B. 方法

「関節リウマチ診療ガイドライン 2020」（日本リウマチ学会）との整合性を図りながら、医師、メディカルスタッフ（看護師、薬剤師、リハビリテーションスタッフ）、患者会が協働して患者支援ガイドの作成に当たる。作成計画は以下の通りである。

- ・2019年度：患者支援ガイドの作成に資する情報を収集する目的でアンケート調査を計画
- ・2020年度：アンケートを実施しその結果を分析し、患者支援ガイドで取り上げるべき項目の選定を行い、執筆を開始
- ・2021年度：今年度は患者支援ガイドを完成し、広く公開するとともにその普及に努めた。さらに、患者支援ガイドに関するアンケート調査を実施した。

C. 結果

1. 患者支援ガイドの作成と完成

2020年度に確定した項目（資料1）に関して、すべての研究分担者、研究協力者、さらに22名の執筆協力者とともガイドを執筆した。

執筆にあたり、①各項目につき1頁を基本とする事、②平易な表現とすること、③基本的な事項に加え患者に対する具体的な指導・説明例を提示すること、④図表を多用することなどに留意した（資料2参照）。

作成したガイドに関して日本リウマチ学会、日本小児リウマチ学会、日本母性内科学会にてパブリックコメントを求め、一部を修正して完成した（全144頁）（別添資料A.）。

患者支援ガイド表紙



2. 患者支援ガイドの公開

本ガイドの使命は、必ずしもRA診療を専門としないメディカルスタッフの方々も含め、RA診療に関わる多くの関係者の方々に幅広く活用いただくことである。そのため、完成した患者支援ガイドは書籍化して販売するのではなく、PDF化したものを自由に閲覧、ダウンロードできるように、Web上に無償で公開した。また、研究費を用いて部数限定で冊子化も行い配布した（後述）。

PDFの公開場所は日本リウマチ学会Webサイト上に設けられたメディカルスタッフ向けサイトとし、2021年3月に公開した。パソコンだけでなく、タブレット、スマートフォンからも閲覧可能であり、医療現場でも活用しやすいものとなっている。URLは以下の通りである。（実際の画面など資料3参照）

<https://www.ryumachi-jp.com/medical-staff/life-stage-guide/>

3. 患者支援ガイド広報のための医療講演会の開催

公開した患者支援ガイドを多くの方々に知っていただくために、メディカルスタッフ向け医療講演会をWebで開催した。

『メディカルスタッフによるライフステージに応じた関節リウマチ患者支援を考える』
開始日時：2021年12月5日（日）10:00～12:00
（オンデマンド配信は12月10日～2022年1月7日）

Web講演会チラシ

参加登録者：694名（図3）

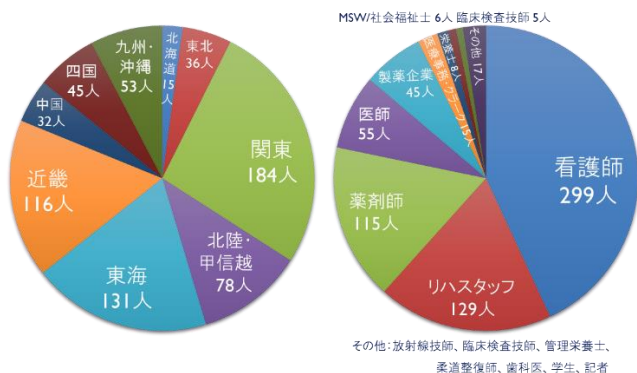
視聴者数： ライブ視聴 327名

オンデマンド再生 176回

北海道から九州・沖縄まで全国各地から多くの方々にご参加いただきました。職種も看護師（43.1%）、リ

ハビリテーションスタッフ(18.6%)、薬剤師(16.6%)をはじめ多様であった。

図 3. Web 講演会参加登録者 (地域と職種)



今回 Web 開催となったが、オンデマンドでの視聴が好評であった(後述)。参加登録者には冊子化した患者支援ガイドを配布した。

4. 患者支援ガイドの広報活動

患者支援ガイド普及のため、以下のような広報活動を積極的に行った。

- ①日本リウマチ学会の Web サイト、SNS およびメールマガジンを介した同学会員への周知
- ②日本リウマチ学会学術集会における周知
- ③日本リウマチ学会学術集会における関連シンポジウムの開催
- ④日本リウマチ学会教育認定施設への冊子化した患者支援ガイドの配布 (605 施設)
- ⑤日本リウマチ友の会「リウマチ公開講演会」(2021 年 12 月開催)における紹介
- ⑥神奈川県内科医学会「RA 治療戦略セミナー」(2022 年 3 月)における紹介
- ⑦医療講演会の開催および参加者への冊子化した患者支援ガイドの配布(前述 3.)
- ⑧その他、本ガイドの主旨に賛同する企業主催のメディカルスタッフ向け RA 患者支援セミナー、ライフステージに応じた RA 患者支援セミナーが複数回開催された。

5. 患者支援ガイド Web サイトの閲覧数

2022 年 3 月 2 日に一般公開したが、同 3 月 31 日までの閲覧回数は 3511 回であった。

6. 患者支援ガイドおよび Web 講演会に関するアンケート調査

前述の Web 講演会参加登録者を対象、講演会終了後、講演会および患者支援ガイドに関するアンケート調査を実施した。

- ・対象：Web 講演会参加登録者
- ・実施期間：2022 年 2 月 7 日～2 月 18 日
- ・調査方法：インターネットにて実施
- ・質問内容：①職業・年齢、②講演会に関する質問、③患者支援ガイドに関する質問、④自由記載
- ・回答数：174 名(25.1%)

1) Web 講演会に関するアンケート結果 (資料 4)

①回答者の半数は看護師(50.6%)、以下、薬剤師(18.4%)、リハビリテーションスタッフ(10.3%)となり、医師(6.3%)や医療事務・クラーク(5.2%)なども多かった。年齢は 40 歳代(42.0%)と 50 歳代(29.9%)で 70%以上を占めていた。

②講演会の満足度は「とても満足」(57.5%)、「やや満足」(39.1%)と 96.6%が満足だったと回答した。講演会の有益性は「非常に役立った」(34.5%)、「とても役に立った」(48.3%)、「そこそこ役になった」(16.1%)と高い評価が得られた。

③講演会を他人に勧めたいかの質問に、「非常にそう思う」(42.0%)、「そう思う」(55.2%)と回答した。また、講演会の視聴方法は「ライブで視聴」(63.8%)、「オンデマンド配信で視聴」(28.2%)、「両方」(7.5%)であった。

④自由記載(資料 5)では、講演会全般に対して高い評価が多く、患者支援への有用性が期待できるものであった。また、オンデマンド配信の実施が好評であったが、その配信期間や視聴方法についての不満も見受けられた。

2) 患者支援ガイドに関するアンケート結果 (資料 6)

①患者支援ガイドには「とても満足」(74.1%)、「やや満足」(21.3%)と 95.8%が満足と回答した。

②患者支援ガイドの有益性は「非常に役立った」(44.8%)、「とても役に立った」(41.4%)、「そこそこ役になった」(12.6%)と高い評価が得られた。

患者支援ガイドを他人に勧めたいかの質問には、「非常にそう思う」(56.9%)、「そう思う」(40.2%)と回答した。

③自由記載(資料 7)では、患者支援ガイド全般に対して高い評価が多く、実際の患者支援の際に有用であるとの意見が多かった。一方で、PDF 版の公開だけでなく冊子化したものを入手したいとの意見も見られた。

D. 考察

今年度、計画通り患者支援ガイドを完成し、公開することができた。また、コロナ禍であったため Web での実施となったが講演会も開催できた。

アンケート結果をみると、患者支援ガイドは概ね高い評価を得ており、実際、メディカルスタッフの方々に実地で活用いただけていることが確認できた。

今回、患者支援ガイドを書籍化して販売せず、PDFにて無償で公開とした点についても好評をいただいたが、その一方で書籍化したほうがより多くの方の目に留まるのではないかという意見も聞かれた。PDF化した患者支援ガイドは、パソコンでダウンロードして印刷できるが、スマートフォンやタブレットでは必要な箇所を手軽に閲覧できる。そのため、自己研鑽のため紙媒体で利用したり、患者指導の際の資料としてスマホやタブレットを用いて活用したり、PDF化して公開したことで利用者の様々な用途に対応できていると考える。

公開サイトの閲覧回数は公開開始 1 ヶ月間で 3500 件を超えているが、患者支援ガイドの周知に関しては上記の懸念もあり、積極的に広報活動を展開している。学会、患者会、企業いずれも本患者支援ガイドに対する関心は高く、すでに実施した活動については結果に記載したが、その後も同様のオフ会が続いている。メディカルスタッフによるライフステージに応じた患者支援の重要性について、この患者支援ガイドの周知を通して啓蒙活動を継続していきたいと考える。

Web 講演会のアンケート結果をみると、全国各地から参加されており、オンデマンド配信による視聴が好評だったこともわかった。奇しくもコロナ禍で Web 開催を余儀なくされた講演会であったが、利便性や費用対効果などの面でも Web 講演会は有用と考えられ、今後も新たな企画を検討していきたい。また、今回実施した Web 講演会の動画を有効活用するため、引き続き配信して視聴できるよう調整中である。

E. 結論

「メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド」が完成し、無償で一般公開した。今後も周知のための広報活動を継続していく。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1) Matsui T, Sugiyama N, Toyozumi S, Matsuyama F, Murata T, Urata Y, Kawahata K, Tohma S. Incidence of malignancies in Japanese patients with rheumatoid arthritis: data from a large Japanese national registry. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2021. 2021.6.

2) 松井利浩, 浦田幸朋, 川畑仁人, 川人 豊, 小嶋雅代, 佐浦隆一, 杉原毅彦, 島原範芳, 辻村美保, 中原英子, 橋本 淳, 橋本 求, 房間美恵, 宮前多佳子, 村島温子, 森 雅亮, 矢嶋宣幸. メディカルスタッフによる関節リウマチ患者支援の実態に関するアンケート調査 ライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド作成に向けて. 第 65 回 日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

3) 辻村美保, 矢嶋宣幸, 松井利浩. メディカルスタッフによる関節リウマチ患者支援の実態に関するアンケート調査 薬剤師による関節リウマチ患者支援の現状と課題. 第 65 回 日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

4) 房間美恵, 矢嶋宣幸, 中原英子, 松井利浩. メディカルスタッフによる関節リウマチ患者支援の実態に関するアンケート調査 看護師による関節リウマチ患者支援の現状と課題. 第 65 回 日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

5) 島原範芳, 佐浦隆一, 矢嶋宣幸, 松井利浩. メディカルスタッフによる関節リウマチ患者支援の実態に関するアンケート調査 リハビリテーション関連職による関節リウマチ患者支援の現状と課題. 第 65 回 日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

6) 中原英子, 矢嶋宣幸, 房間美恵, 辻村美保, 島原範芳, 佐浦隆一, 松井利浩. メディカルスタッフによる関節リウマチ患者支援の実態に関するアンケート調査 3 職種の関節リウマチ患者支援の現状と課題の比較. 第 65 回 日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

7) 松井利浩. 移行支援 Updated 2021 「関節リウマチ診療ガイドライン 2020」と「メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド」にみる移行支援. 第 30 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 2021.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

資料 1. 『メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド』

第 1 部: 関節リウマチの基礎

I. 関節リウマチの基礎知識

- I-1 関節リウマチはどのような病気か? (原因や疫学)
- I-2 関節症状の特徴は?
- I-3 関節以外の症状として何があるのか?
- I-4 関節リウマチの診断の基準は?
- I-5 どのような血液検査が行われるのか?
- I-6 どのような画像検査が行われるのか?
- I-7 疾患活動性の評価はどのように行われるのか?
- I-8 ADL の評価方法は?
- I-9 関節リウマチにおける「寛解」とは何か?
- I-10 T2T とは何か?
- I-11 関節リウマチ診療ガイドライン 2020 の概要は?
- I-12 関節リウマチの長期予後および生命予後は?

II. 関節リウマチの治療

- II-1 治療の全体像は?
- II-2 日常生活における注意点は?
- II-3 薬物療法の全体像は?
- II-4 メトトレキサート(MTX): 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-5 MTX 以外の csDMARDs: 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-6 生物学的製剤(bDMARDs): 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-7 分子標的薬 DMARDs(tsDMARDs): 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-8 消炎鎮痛解熱剤(NSAIDs): 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-9 ステロイド: 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-10 抗 RANKL 抗体: 治療における役割と使用時の注意点は?
- II-11 体調が悪いときや、内服や注射を忘れたときはどうすればよいのか?
- II-12 治療薬は将来、中止できるのか?
- II-13 手術の種類と適応は?
- II-14 手術前後のマネジメントで気を付けるべきことは?
- II-15 人工関節手術後に気を付けるべきことは?

- II-16 リハビリテーションの全体像は?

III. 患者支援の実際

- III-1 自助具や福祉用品にはどのようなものがあるのか?
- III-2 装具にはどのようなものがあるのか?
- III-3 余暇活動の支援としてどのようなものがあるのか?
- III-4 骨粗鬆症対策にはどのようなものがあるのか?
- III-5 注意すべき感染症とその対策は何か?
- III-6 帯状疱疹の特徴と対策は何か?
- III-7 予防接種における注意点は何か?
- III-8 間質性肺炎について知っておくべきことは何か?
- III-9 悪性腫瘍について知っておくべきことは何か?
- III-10 がん検診は受けるべきか?
- III-11 その他の注意すべき合併症は何か?
- III-12 RA 患者さん、JIA 患者さんへの支援制度にはどのようなものがあるのか?
- III-13 患者さん向けの公益性の高い情報を入手するには?

第 2 部: ライフステージ別の患者支援

I. 移行期

- I-1 若年性特発性関節炎(JIA)と関節リウマチ(RA)の違いは何か?
- I-2 関節型 JIA と RA では、適用のある治療薬に違いはあるのか?
- I-3 移行期関節型 JIA の診療で留意すべき治療薬の副作用や合併症は何か?
- I-4 移行期関節型 JIA 症例やその家族と医療者の関係性で留意すべき点は何か?
- I-5 移行期関節型 JIA の生活指導において必要な知識は何か?
- I-6 移行期関節型 JIA のリハビリテーションについて知っておくべき知識は何か?
- I-7 関節型 JIA の小児期と成人期での医療費助成の違いは何か?
- I-8 関節型 JIA の移行サマリーに必要な情報は何か?

I-9 移行期関節型 JIA 症例の進学、就労に関する指導で留意すべき点は何か？

II.妊娠出産期

II-1 プレコンセプションケアを行う際、確認すべき点は何か？

II-2 加齢による妊娠への影響は？

II-3 RA が妊娠に及ぼす影響および女性 RA 患者さんの挙児率は？

II-4 避妊方法やパートナーへ伝えるべきことは何か？(月経周期の知識も含めて)

II-5 妊娠希望の RA 患者が考慮すべき点は？

II-6 不妊検査や不妊治療時の注意点は？

II-7 妊娠を希望した際に調整が必要な薬剤は？

II-8 「子どもにも病気は遺伝するのでしょうか？」と聞かれたら？

II-9 妊娠中、RA の活動性はどうか変わるのか？

II-10 妊娠中の生活で気を付けるべきことは何か？

II-11 妊娠中や授乳中に使用が許容される薬剤は何か？

II-12 産後、RA の活動性はどうかなるのか？

II-13 産後の合併症(骨粗鬆症や産後うつ)への注意点は？

II-14 児の予防接種時の注意点は？

II-15 育児による関節機能への負担を軽減するにはどうすればよいのか？

II-16 産後の患者さんへの支援制度や相談窓口は？

III.高齢期

III-1 高齢 RA 患者さんの特徴は何か？

III-2 ライフステージに応じた高齢 RA 患者さんの治療目標は何か？

III-3 高齢 RA 患者さんの服薬管理指導はどのように行えばよいのか？

III-4 高齢 RA 患者さんに対する総合機能評価はどのように行えばよいのか？

III-5 高齢 RA 患者さんに対するサルコペニアの評価はどのように行えばよいのか？

III-6 高齢 RA 患者さんにリハビリテーションを実施するときの注意点は何か？

III-7 介護保険施設への入所や在宅医療への移行の際に注意すべき点は何か？

第3部:患者支援制度について

1 RA 患者さんが利用できる支援制度にはどのようなものがあるのか？

2 身体障害手帳の申請方法と助成内容は？

3 高額な医療費に対する支援制度にはどのようなものがあるのか？

4 若年性特発性関節炎(JIA)および悪性関節リウマチに対する医療費助成制度は？

5 年金、税控除、休業中の補償などに関する支援制度にはどのようなものがあるのか？

6 福祉やサービスなどの支援制度にはどのようなものがあるのか？

7 就労支援制度にはどのようなものがあるのか？

第4部:緊急時に対する備えと対応について

1 知っておくべき災害時の医療体制と RA 患者さんの支援体制は？

2 災害時に備えて知っておくべき内服薬や注射薬の知識は何か？

3 災害時に困らないように家庭で取り組むべき対策は何か？

4 知っておくべき災害発生時に必要な行動は？

5 災害時・避難時の生活上の注意点は？

コラム

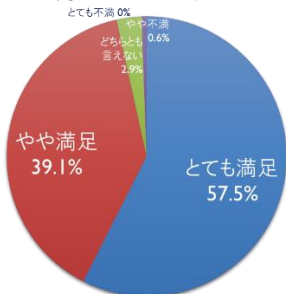
・MTX 服用中の葉酸摂取について

・MTX と葉酸の服用方法

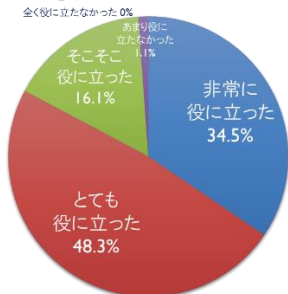
・RA に漢方薬やサプリメント、健康食品は有効なのか？

資料 4. Web 講演会に関するアンケート結果

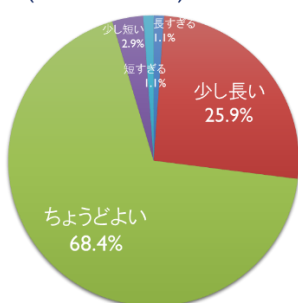
Q1. 講演会にどの程度満足していますか？



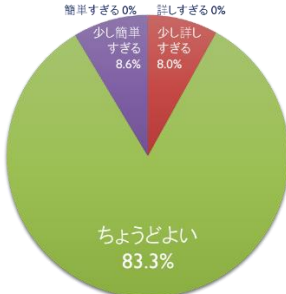
Q2. 講演会の内容はどの程度役に立ちましたか？



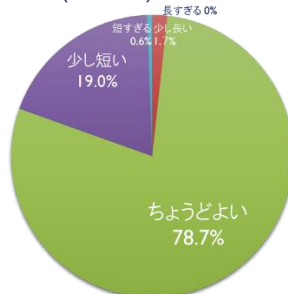
Q3. 講演会の時間(全体で2時間)について



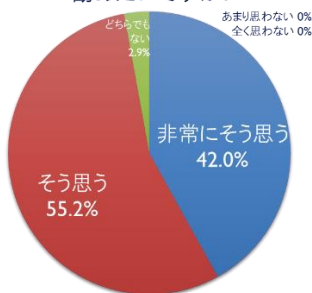
Q4. 一つ一つの講演内容について



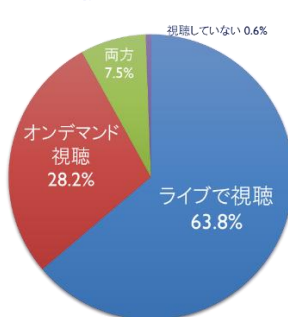
Q5. 一つ一つの講演時間(約15分)について



Q6. 講演会がオンデマンドで視聴出来たら他の人にも勧めたいですか？



Q7. 講演会の視聴方法を教えてください

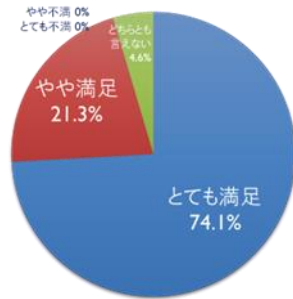


資料 5. アンケート自由記載(Web 講演会)

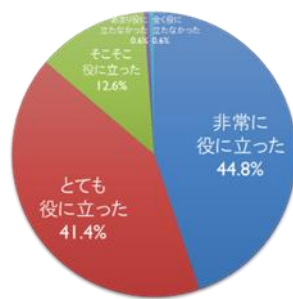
- ・メディカルスタッフに分かりやすい内容で資料も素晴らしいわかりやすかったです。
- ・音が小さかった。
- ・ありがとうございました。少し速足のご講演でついていくのがやっとでしたが、得る物が多くとても充実した内容でした。ご案内いただければ次回も視聴したいと思います。
- ・送付頂いた本がとても役立っています。
- ・ガイドブックが頂けて、それを元に勉強会もしているの、とてもありがたいです。悩んでいたのも、こういうものや中身を説明していただける研修は、道標になるので本当に参加して良かったです。また中身の詳細の研修をよろしくお願いします。
- ・オンデマンド動画は途中で中断すると頭からしか見られないため見づかった。
- ・良い勉強になりました！
- ・オンデマンドの選択肢があったので、ライブでの聞き逃しや当日のスケジュール調整に気を遣うことなく受講することができました。
- ・土曜は外来があるので開催日の検討をお願いします。土曜の会が多い印象です。
- ・後日のオンデマンドの視聴の仕方がよくわからなかったため、視聴出来なかった。
- ・次回の講演会も期待します。
- ・とても勉強になりました。もっと内容があっても感じました。
- ・個々で、詳細にしたい。
- ・comedical部門の視点での講演内容で、実際介入する際に役立つ内容だったと感じました。
- 今後は、各部門、職種ごとのコミュニケーションスキルが身につく実践的な内容も是非いただきたいと思います。
- ・日々の看護に生かして参ります。ありがとうございました。
- ・講演会は今ひとつだったが、患者支援ガイドの本は良く出来ていた。
- ・妊娠とウマチに関する詳しいお話を伺うことができ、大変参考になりました。
- ・全体では長く感じましたが、休憩を入れてもらえたら大丈夫かと思えます。
- ・マイクの調子なのか、聞こえない講演があった。
- ・日頃取り組んでいることのおさらいになった。
- ・分野ごとにしっかり組まれた内容でとても勉強になりました。
- ・患者様に服薬指導するのにとても役立つ情報でした。
- ・私が知らなかったのかもかもしれませんが、もっと幅広く宣伝があればよかったのではと思いました。
- ・リハビリテーション、服薬について詳しくききたいと思いました。このような研修やテキストがあってとても良いと思いました。
- ・興味ある内容が多く、参考になりました。
- ・患者さんを診るときに、大変参考になりました。
- ・いただいた本と講演でRAに対する知識が付いて来ました。ありがとうございます。
- ・良かったです。
- ・当日見られなかったため、オンデマンド配信があり、とても良かったです。
- ・また開催されるようならメールなどで知らせてくれたら嬉しいです。
- ・コロナ禍のためこのような形で開催していただき、また大変勉強になる冊子までも頂戴できて感謝いたします。
- ・年末年始を挟んでのオンデマンドだったので、もう少し期間があると良かったです。

資料 6. 患者支援ガイドに関するアンケート結果

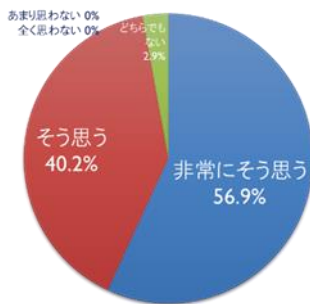
Q8.「患者支援ガイド」にどの程度満足していますか？



Q9.「患者支援ガイド」はどの程度役に立ちましたか？



Q10.「患者支援ガイド」を他の人にも勧めたいと思いますか？



資料 7. アンケート自由記載(患者支援ガイド)

- ・ガイドがいただけたことに感謝です。
- ・ガイドラインのように更新されたり、内容が充実することを今後期待します。
- ・こういうのが普及してほしい。
- ・コメディカル向けの表現のため物足りなさもなくはないが、とてもわかりやすいため、新人に勧めたい。
- ・こんなに有益な内容のものを無料で配布して頂きありがとうございます。この本の存在を知らない方も多いと思いますので、もっと広めていってほしいです。
- ・ときどきすかります。
- ・とても分かりやすくまとめているので、リウマチ初心のスタッフにも配りたいと思いました。
- ・どんだんにすすめております。とても素晴らしい活動だと思います。
- ・みやすかった。
- ・もう一冊いただくことは可能でしょうか？
- ・ライフステージにあわせた支援内容が網羅され、大変勉強になります。
- ・解りやすく、有難い書籍です。日々、活用しています。
- ・患者から質問された際の回答の仕方が大変参考になりました。
- ・患者さんへの説明の仕方についても書いてあるので、指導しやすいです。欲を言えばもう少し例を上げていただきたかったです。
- ・患者支援ガイドがとても役に立っています。わかりやすい内容で活用させていただいております。
- ・患者支援ガイドは分かりやすくとても役に立っています。特にライフステージ別の患者支援はこれまで関わったことのない内容で勉強になりました。これから学習を始める周りの方にも是非勧めたいガイドだと思います。今後コロナ関連の内容も含まれてくるといいなと思います。
- ・関節リウマチケアに関して各分野の内容があり勉強になります。
- ・講義前に手元にあるとより良かったと思いました。
- ・高度な多方面にわたる内容が良くまとめられていて、わかりやすかったです。
- ・参考にしたい資料がありましたが、記録が追いつかず残念でした。
- ・施設単位または個人で入手できるようにしてほしい。
- ・疾患、治療、ライフステージ別患者支援までの充実した内容で振り返りや新たな学習ができとても満足しています。
- ・柔道整復師の公益社団法人、支部(刈谷)、学術部にも配布出来たら幸いです。
- ・新人看護師へのRA患者対応指導にとても役に立ってます。ありがとうございます。
- ・全般に分かりやすく、良い内容であった。
- ・当院医師も素晴らしいテキストと読まれました。
- ・ガイドが届いていません。
- ・内容も分かりやすく、患者対応にとても役立っています。
- ・妊娠出産の項はJCRガイドラインの内容が分かりやすくまとめられていて、医師との協議や情報提供、服薬指導に役立ちました。
- ・病気だけでなく、制度についての内容もありとても良かったです。お金について心配している方も多いと思うので、参考にさせていただきたいと思います。
- ・服薬については、テキストの記述と実際の処方では、ステロイドや鎮痛薬などの使い方は結構違うと思ったので、補足するような講義があればよかったです。
- ・未着のため、感想なしです。
- ・薬剤師全員で閲覧しています。服薬指導にとても役立つ情報です。
- ・良かったです。